



VSAN

- [VSAN \(1 ページ\)](#)

VSAN

Cisco Nexusダッシュボードファブリックコントローラの仮想 SAN (VSAN) を構成および管理できます。メニューから、[**仮想的な管理 (Virtual Management)**] > [**VSANS**] を選択して、VSAN 情報を表示します。検出されたファブリックの VSAN を、[**管理可能 (Manageable)**] または **継続的に管理 (Manage Continuously)** ステータスで表示または設定できます。選択したファブリックでは、VSAN スコープツリーが左側のパネルに表示されます。

Cisco データセンタースイッチおよび Cisco MDS 9000 シリーズスイッチで仮想 SAN (VSAN) を使用すると、ファイバチャネルファブリックでより高度なセキュリティと高い安定性を得ることができます。VSAN は同じファブリックに物理的に接続されたデバイスを分離します。VSAN では、一般の物理インフラストラクチャで複数の論理 SAN を作成できます。各 VSAN には最大 239 台のスイッチを組み込みます。それぞれの VSAN は、異なる VSAN で同じファイバチャネル ID (FC ID) を同時に使用できる独立したアドレス領域を持ちます。



- (注) Cisco Nexusダッシュボードファブリックコントローラは、一時停止された VSAN を検出せず、表示もしません。



- (注) Nexusダッシュボードファブリックコントローラでスイッチポートの VSAN を変更すると、ポートが隔離された VSAN に関連付けられていた場合、前の VSAN 列は空白になります。

タブに表示されるすべてのフィールドの説明については、「[VSAN のフィールドと説明 \(13 ページ\)](#)」を参照してください。

このセクションは、次のトピックで構成されています。

VSANに関する情報

VSANを導入することによって、ネットワーク管理者はスイッチ、リンク、および1つまたは複数のVSANを含むトポロジを1つ作成できます。このトポロジの各VSANでは、SANの動作およびプロパティが同じです。VSANには次の特徴もあります。

- 複数のVSANで同じ物理トポロジを共有できます。
- 同じFibre Channel ID (FC ID) を別のVSAN内のホストに割り当てて、VSANのスケールビリティを高めることができます。
- VSANの各インスタンスは、FSPF、ドメインマネージャ、およびゾーン分割などの必要なすべてのプロトコルを実行します。
- VSAN内のファブリック関連の設定は、別のVSAN内の関連トラフィックに影響しません。
- あるVSAN内のトラフィック中断を引き起こしたイベントはそのVSAN内にとどまり、他のVSANに伝播されません。

VSANがアクティブの状態、最低1つのポートがアップの状態であれば、VSANは動作ステートにあります。このステートは、トラフィックがこのVSANを通過できることを示します。このステートは設定できません。

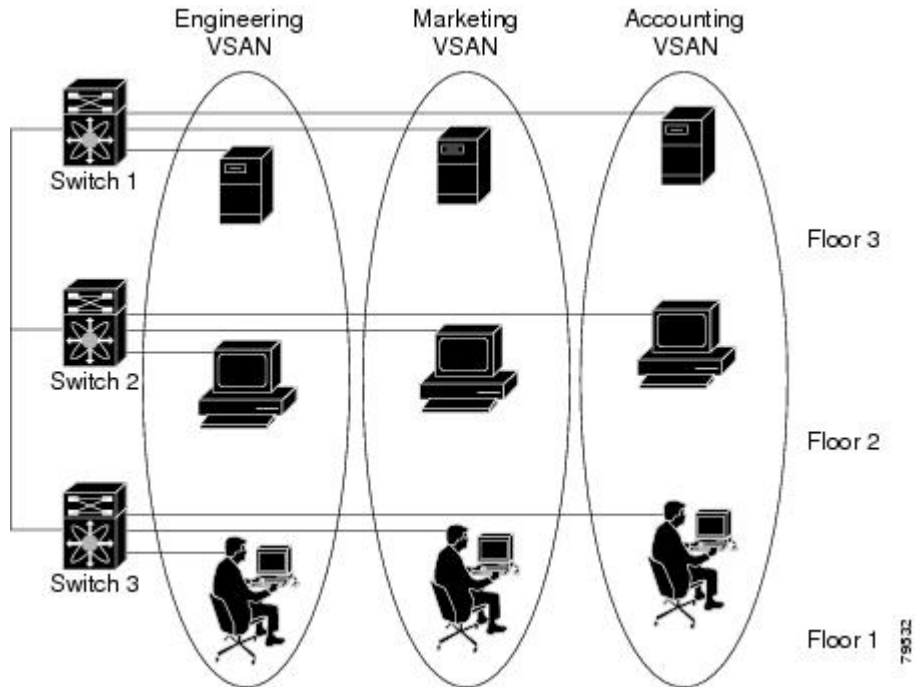
相互運用性により、複数ベンダー製品間の相互接続が可能になっています。ファイバチャネル標準規格では、ベンダーに対して共通の外部ファイバチャネルインターフェイスを使用することを推奨しています。最大8つのVSANでFICONをイネーブルできます。

ここではVSANについて説明します。具体的な内容は次のとおりです。

VSAN トポロジ

次の図は、各フロアに1つずつ、3つのスイッチがあるファブリックを示しています。スイッチと接続された装置の地理的な配置は、論理VSANの区分けには依存しません。VSAN間では通信できません。各VSAN内では、すべてのメンバが相互に対話できます。

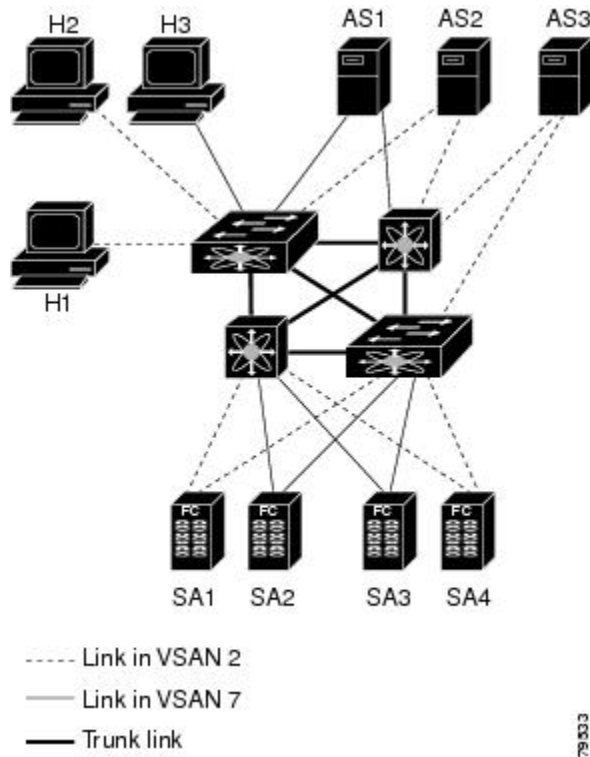
図 1: 論理 VSAN の区分け



以下に、VSAN 2 (破線) と VSAN 7 (実線) の 2 つの定義済み VSAN からなるファイバチャネルスイッチングの物理インフラストラクチャを示します。VSAN 2 には、ホスト H1 と H2、アプリケーションサーバー AS2 と AS3、ストレージレイ SA1 と SA4 が含まれます。VSAN 7 は、H3、AS1、SA2、および SA3 と接続します。

このネットワーク内の 4 つのスイッチは、VSAN 2 と VSAN 7 の両方のトラフィックを伝送するトランクリンクによって相互接続されます。VSAN 2 と VSAN 7 の両方のスイッチ間トポロジは同じです。これは要件ではないため、ネットワーク管理者は特定のリンクで特定の VSAN をイネーブルにして別の VSAN トポロジを作成できます。

図 2:2つの VSAN の例



VSANがもしなければ、SANごとに別個のスイッチとリンクが必要です。VSANをイネーブルにすることによって、同一のスイッチとリンクが複数のVSANで共有されることがあります。VSANでは、スイッチ精度ではなく、ポート精度でSANを作成できます。上の図では、VSANが物理SANで定義された仮想トポロジを使用して相互に通信するホストまたはストレージデバイスのグループであることを表しています。

このようなグループを作成する基準は、VSAN トポロジによって異なります。

- VSAN は、次の条件に基づいてトラフィックを分離できます。
 - ストレージプロバイダー データセンター内の異なるお客様
 - 企業ネットワークの業務またはテスト
 - ローセキュリティおよびハイセキュリティの要件
 - 別個の VSAN によるバックアップトラフィック
 - ユーザー トラフィックからのデータの複製
- VSAN は、特定の部門またはアプリケーションのニーズを満たせます。

VSAN の利点

VSAN には、次のような利点があります。

- **トラフィックの分離**：必要に応じて、トラフィックを VSAN 境界内に含み、1 つの VSAN 内だけに装置を存在させることによって、ユーザーグループ間での絶対的な分離を確保します。
- **スケーラビリティ**：VSAN は、1 つの物理ファブリック上でオーバーレイされます。複数の論理 VSAN 層を作成することによって、SAN のスケーラビリティが向上します。
- **VSAN 単位のファブリック サービス**：VSAN 単位のファブリック サービスの複製は、拡張されたスケーラビリティとアベイラビリティを提供します。
- **冗長構成**：同一の物理 SAN で作成された複数の VSAN は、冗長構成を保証します。1 つの VSAN に障害が発生した場合、ホストと装置の間にあるバックアップパスによって、同一の物理 SAN にある別の VSAN に冗長保護が設定されます。
- **設定の容易さ**：SAN の物理構造を変更することなく、VSAN 間でユーザーを追加、移動、または変更できます。ある VSAN から別の VSAN へ装置を移動する場合は、物理的な設定ではなく、ポートレベルの設定だけが必要となります。

最大 256 の VSAN を 1 つのスイッチに設定できます。これらの VSAN の 1 つがデフォルト VSAN (VSAN 1)、もう 1 つが独立 VSAN (VSAN 4094) です。ユーザー指定の VSAN ID 範囲は 2 ~ 4093 です。

VSAN の設定

VSAN には、次の属性があります。

- **VSAN ID**：VSAN ID は、デフォルト VSAN (VSAN 1)、ユーザー定義の VSAN (VSAN 2 ~ 4093)、および独立 VSAN (VSAN 4094) で VSAN を識別します。
- **ステート**：VSAN の管理ステートを active (デフォルト) または suspended ステートに設定できます。VSAN が作成されると、VSAN はさまざまな状態またはステートに置かれます。
 - VSAN の active ステートは、VSAN が設定されイネーブルであることを示します。VSAN をイネーブルにすることによって、VSAN のサービスをアクティブにします。
 - VSAN の suspended ステートは、VSAN が設定されているがイネーブルではないことを示します。この VSAN にポートが設定されている場合、ポートは無効の状態です。このステートを使用して、VSAN の設定を失うことなく VSAN を非アクティブにします。suspended ステートの VSAN のすべてのポートは、ディセーブルの状態です。VSAN を suspended ステートにすることによって、ファブリック全体のすべての VSAN パラメータを事前設定し、VSAN をただちにアクティブにできます。
- **VSAN 名**：このテキストストリングは、管理目的で VSAN を識別します。名前は、1 ~ 32 文字で指定できます。また、すべての VSAN で一意である必要があります。デフォルトでは、VSAN 名は VSAN と VSAN ID を表す 4 桁のストリングを連結したものです。たとえば、VSAN 3 のデフォルト名は VSAN0003 です。



(注) VSAN 名は一意である必要があります。

- ロードバランシング属性：これらの属性は、ロードバランシングパス選択に対する送信元/送信先 ID (src-dst-id) または Originator Exchange ID (OX ID) (デフォルトでは、src-dst-ox-id) の使用を示します。



(注) 第 1 世代スイッチングモジュールでは、IVR 対応スイッチからの IVR トラフィックに対しては、OX ID ベースのロードバランシングがサポートされませんでした。非 IVR の MDS 9000 シリーズスイッチからの IVR トラフィックの OX ID ベースのロードバランシングは機能します。第 2 世代のスイッチングモジュールでは、IVR 対応スイッチからの IVR トラフィックに対して、OX ID ベースのロードバランシングがサポートされるようになりました。

- ロードバランシング属性は、ロードバランシングパス選択に対する送信元/宛先 ID (src-dst-id) または Originator Exchange ID (OX ID) (デフォルトでは、src-dst-ox-id) の使用を示します。

ポート VSAN メンバーシップ

スイッチのポート VSAN メンバーシップは、ポート単位で割り当てられます。デフォルトでは、各ポートはデフォルト VSAN に属します。2 つの方式のいずれかを使用して、ポートに VSAN メンバーシップを割り当てることができます。

- 静的：VSAN をポートに割り当てる
- 動的：デバイスの WWN に基づいて VSAN を割り当てる

この方式は、Dynamic Port VSAN Membership (DPVM) と呼ばれます。

VSAN のタイプ

次に、さまざまなタイプの VSAN を示します。

デフォルト VSAN

Cisco MDS 9000 ファミリのスイッチの出荷時の設定値では、デフォルト VSAN 1 だけがイネーブルにされています。VSAN 1 を実稼働環境の VSAN として使用しないことをお勧めします。VSAN が設定されていない場合、ファブリック内のすべてのデバイスはデフォルト VSAN に含まれていると見なされます。デフォルトでは、デフォルト VSAN にすべてのポートが割り当てられています。



(注) VSAN 1 は削除できませんが、中断できます。

最大 256 の VSAN を 1 つのスイッチに設定できます。これらの VSAN の 1 つがデフォルト VSAN (VSAN 1)、もう 1 つが独立 VSAN (VSAN 4094) です。ユーザー指定の VSAN ID 範囲は 2 ~ 4093 です。

分離された VSAN

VSAN 4094 は独立 VSAN です。ポートが属する VSAN が削除された場合、非ランキングポートがすべて、この VSAN に転送されます。これにより、デフォルト VSAN または別の設定済みの VSAN へのポートの暗黙的な転送が回避されます。削除された VSAN のポートはすべて、分離されます (ディセーブルされます)。



(注) VSAN 4094 内にポートを設定するか、ポートを VSAN 4094 に移動すると、このポートがすぐに分離されます。



注意 分離された VSAN を使用してポートを設定しないでください。

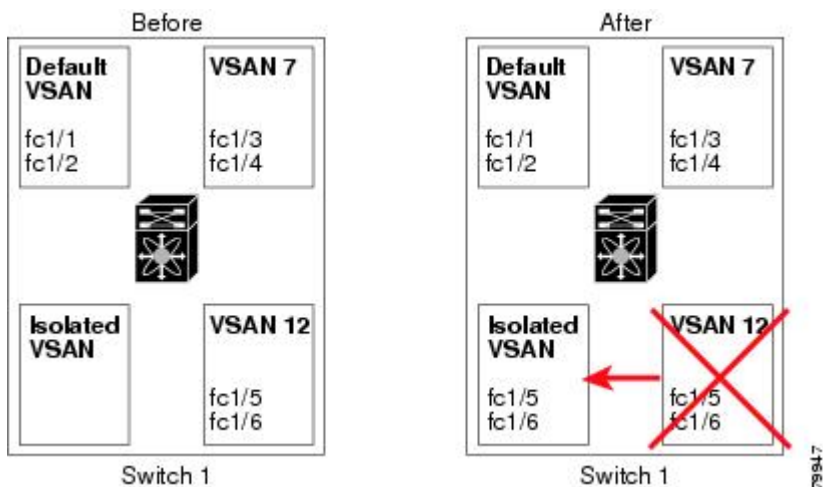
最大 256 の VSAN を 1 つのスイッチに設定できます。これらの VSAN の 1 つがデフォルト VSAN (VSAN 1)、もう 1 つが独立 VSAN (VSAN 4094) です。ユーザー指定の VSAN ID 範囲は 2 ~ 4093 です。

スタティック VSAN の削除

アクティブな VSAN が削除されると、その属性が実行コンフィギュレーションからすべて削除されます。VSAN 関連情報は、次のようにシステム ソフトウェアによって保持されます。

- VSAN 属性およびポートメンバーシップの詳細は、VSAN マネージャによって保持されます。コンフィギュレーションから VSAN を削除すると、この機能が影響を受けます。VSAN が削除されると、VSAN 内のすべてのポートが非アクティブになり、ポートが独立 VSAN に移動されます。同一の VSAN が再作成されると、ポートはその VSAN に自動的に割り当てられることはありません。明示的にポート VSAN メンバーシップを再設定します (以下の図を参照)。

図 3: VSAN ポートメンバーシップの詳細



- VSAN ベースのランタイム（ネームサーバー）、ゾーン分割、および設定（スタティックルート）情報は、VSAN が削除されると削除されます。
- 設定された VSAN インターフェイス情報は、VSAN が削除されると削除されます。



(注) 許可 VSAN リストは、VSAN が削除されても影響を受けません。

設定されていない VSAN のコマンドは拒否されます。たとえば、VSAN 10 がシステムに設定されていない場合、ポートを VSAN 10 に移動するコマンド要求が拒否されます。

VSAN の設定および管理に関する機能情報

次の表に、この機能のライセンス要件を示します。

ライセンスの説明

ENTERPRISE_PKG VSAN を有効にするには、エンタープライズライセンスが必要です。ライセンス方式の詳細については、『Cisco Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ Licensing Guide』を参照してください。

ライセンス	ライセンスの説明
ENTERPRISE_PKG	VSAN を有効にするには、エンタープライズライセンスが必要です。ライセンス方式の詳細については、『Cisco Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ Licensing Guide』を参照してください。

デフォルトの VSAN 設定

次の表に、設定されたすべての VSAN のデフォルト設定を示します。

パラメータ	デフォルト
デフォルト VSAN	VSAN 1
状態	アクティブ状態
名前	VSAN と VSAN ID を表す 4 桁のストリングを連結したものです。たとえば、VSAN 3 は VSAN0003 です。
ロードバランシング属性	OX ID (src-dst-ox-id)

VSAN の作成ウィザード

VSAN 作成ウィザードのワークフローには次のものが含まれます。

- VSAN ID と名前を指定します。
- スイッチを選択します。
- VSAN 属性を指定します。
- VSAN ドメインを指定します。
- VSAN メンバーを指定します。

[仮想管理 (Vertial Management)] > [VSANS] を選択します。ドロップダウンリストからファブリックを選択したら、[新しい VSAN の作成 (Create New VSAN)] アイコンをクリックします。ウィザードのようこそ画面が表示されます。



(注) VSAN がまだ作成されていないことを確認します。

Cisco Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ Web UI を使用して VSAN を作成して設定するには、次の手順を実行します。

始める前に

VSAN を作成する前には、VSAN に対してアプリケーション特有のパラメータを設定できません。

VSAN がまだ作成されていないことを確認します。中断状態の VSAN を作成しないでください。



(注) 中断状態の VSAN は管理されません。

手順

ステップ 1 [VSAN ID と名前 (VSAN ID and Name)] ウィンドウで、次の手順を実行します。

- a) ファブリックが [ファブリック (Fabric)] フィールドに対して正しいことを確認します。
- b) [VSAN ID] フィールドで、ドロップダウンリストから VSAN ID を選択します。

範囲は 2 ~ 4094 です。ファブリック内の少なくとも 1 つのスイッチで VSAN ID のリストを作成します。VSAN 4079 は予約済み VSAN ID です。

- c) [VSAN 名前 (VSAN Name)] フィールドに、VSAN の名前を入力します。

(注) このフィールドが空白の場合、スイッチはデフォルトの名前を VSAN に割り当てます。

- d) [FICON] チェックボックスをオンにして、スイッチで FICON を有効にします。
- e) [次へ (Next)] をクリックします。

ステップ 2 [スイッチの選択 (Select Switches)] 画面で、[スイッチ名 (Switch Name)] の横にあるチェックボックスをオンにして、VSAN を作成します。

スイッチ名がグレー表示されている場合は、そのスイッチがすでに VSAN の一部であることを示しています。また、前の手順で FICON がオンにされている場合、スイッチで FICON 機能が有効になっていないことを意味する場合があります。

[次へ (Next)] をクリックします。

ステップ 3 [VSAN 属性の設定 (Configure VSAN Attributes)] 画面で、VSAN 属性を設定します。

(注) 中断状態の VSAN を作成した場合、中断状態の VSAN は管理されないため、Cisco Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ には表示されません。

- a) [ロードバランシング (Load Balancing)] で、VSAN で使用するロードバランシングタイプを選択します。

次のタイプを使用できます。

- Src ID/Dest ID : 送信元 ID (Src_ID) と接続先 ID (Dest_ID) のみに基づいています。
- Src ID/Dest ID/Ox ID (デフォルト) : Src_ID および Dest_ID に加えて、発信元交換 ID (Ox_ID) もロードバランシングに使用されます。Ox_ID は、ターゲット インターコネクトポートとの交換のために発信元インターコネクトポートによって割り当てられた交換 ID です。

(注) Src ID/Dest ID/Ox ID は非 FICON VSAN のデフォルトのロードバランシングタイプであり、FICON VSAN では使用できません。Src ID/Dest ID は FICON VSAN のデフォルトです。

- b) [相互運用性 (InterOp)] で、相互運用性の値を選択します。

相互運用性の値は、異なるベンダーのデバイスと相互運用するために使用されます。次のいずれかを選択できます。

- デフォルト：相互運用性が無効であることを意味します。
- InterOp-1：VSAN がすべてのファイバチャネルベンダー デバイスと相互運用できることを意味します。
- InterOp-2：VSAN が基本的な機能から高度な機能まで、特定のファイバチャネルベンダー デバイスと相互運用できることを意味します。
- InterOp-3：VSAN が基本的な機能から高度な機能まで、特定のファイバチャネルベンダー デバイスと相互運用できることを意味します。
- InterOp-4：VSAN が基本的な機能から高度な機能まで、特定のファイバチャネルベンダー デバイスと相互運用できることを意味します。

(注) 相互運用性は FICON VSAN ではサポートされていません。

- c) [管理状態 (Admin State)] で、この VSAN の設定可能な状態を選択します。

- アクティブ：VSAN が設定され、この VSAN のサービスがアクティブであることを意味します。
- 一時停止：VSAN は設定されていますが、この VSAN のサービスは非アクティブ化されていることを意味します。

ファブリック全体のすべての VSAN パラメータを事前設定するには、この状態を選択します。

(注) Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ は一時停止された VSAN を管理しないため、VSAN 範囲には表示されません。

- d) 順序どおりの配信を許可するには、[順序どおりの配信 (InOrder delivery)] チェック ボックスをオンにします。

fcInorderDelivery の値が変更されると、このオブジェクトの値はそのオブジェクトの新しい値に設定されます。

- e) FICON VSAN のファブリックバインドを有効にする場合は、[ファブリックバインド DB の追加 (Add Fabric Binding DB)] チェックボックスをオンにします。

このチェックボックスをオンにすると、選択したスイッチのすべてのピアが、選択したリストの各スイッチに追加されます。

- f) FICON VSAN のすべてのポートを禁止する場合は、[すべてのポートを禁止 (All Port Prohibited)] チェックボックスをオンにします。

チェックボックスが選択されている場合、FICON VSAN は、デフォルトですべてのポートが禁止されているものとして作成されます。

- g) [次へ (Next)] をクリックします。

ステップ 4 [VSAN ドメインの設定 (Configure VSAN Domain)] 画面で、FICON VSAN の静的ドメイン ID を設定します。

- a) [静的ドメイン ID を使用する (Use Static Domain IDs)] チェックボックスをオンにして、VSAN 内のスイッチのドメイン ID を設定します。
- b) [使用可能なドメイン ID (Available Domain IDs)] フィールドには、ファブリックで使用可能なすべてのドメイン ID が表示されます。

[使用可能なドメイン ID を自動的に適用 (Automatically apply available domain IDs)] をクリックして、VSAN の一部として選択されたすべてのスイッチにドメイン ID を割り当てます。

- c) テーブル内のすべてのスイッチについて、使用可能なドメイン ID のリストからドメイン ID を入力します。
- d) [次へ (Next)] をクリックします。

ステップ 5 [ポートメンバーシップの設定 (Configure Port Membership)] 画面で、VSAN 内のすべてのスイッチについて、インターフェイスを新しい VSAN のメンバーとして設定します。

(注) ポート VSAN を変更すると、インターフェイスの I/O に影響する場合があります。

[次へ (Next)] をクリックします。

ステップ 6 [レビュー (Review)] 画面で、VSAN が正しく設定されているかどうかを確認します。

[前へ (Previous)] をクリックして前の画面に移動し、設定を変更します。

[完了 (Finish)] をクリックして確認し、VSAN を設定します。ウィンドウ下部に VSAN の作成結果が表示されます。

(注) VSAN の作成後、新しい VSAN が VSAN 範囲ツリーに表示されるまで数分かかります。

(注) スイッチポートが隔離された VSAN に関連付けられている場合、以前の VSAN 情報は空白になります。

VSLAN の削除

Cisco Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ Web UI から VSAN とその属性を削除するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [仮想管理 (Vertical Management)] > [VSANS] を選択します。

[VSANS] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 2** [ファブリックの選択] ドロップダウンリストから、VSAN が関連付けられているファブリックを選択します。
- 選択したファブリックの VSAN スコープツリーが VSANS エリアに表示されます。
- ステップ 3** ファブリックを展開し、VSAN の横にある削除アイコンをクリックします。
- [VSAN の削除] 画面が表示され、VSAN に関連付けられたスイッチが表示されます。
- (注) セグメント化された VSAN は削除できません。
- ステップ 4** VSAN を削除するスイッチのチェックボックスを選択します。
- [VSAN の削除 (Delete VSAN)] をクリックします。
- 確認ウィンドウが表示されます。
- ステップ 5** 削除を確認する場合は [確認 (Confirm)] をクリックするか、[キャンセル (Cancel)] をクリックして VSAN を削除しないでダイアログボックスを閉じます。
- (注) VSAN が削除された後、新しい VSAN が VSAN スコープツリーから消えるまで数分かかります。

VSAN のフィールドと説明

[仮想管理 (Virtual Management)] > [VSANS] に表示されるすべてのタブのフィールドと説明は、次の表で説明されています。

[Switches] タブ

このタブには、VSAN スコープのスイッチが表示されます。スイッチ名をクリックして、スイッチの概要情報を表示します。次の表では、[スイッチ] タブに表示されるフィールドについて説明します。

表 1: [スイッチ] タブのフィールドと説明

フィールド	説明
名前	VSAN のスイッチの名前を指定します。 名前をクリックして、スイッチの概要を表示します。 詳細を表示するには、[詳細の表示 (View Details)] をクリックしてください。
ドメイン ID	永続的なドメイン ID を指定します。
VSAN WWN	VSAN の World Wide Name (WWN) を指定します。

フィールド	説明
プリンシパル WWN	スイッチの World Wide Name (WWN) を指定します。 (注) 主要スイッチの場合、値は <i>self</i> です。
モデル	スイッチのモデル名を指定します。
リリース	スイッチの NX-OS バージョンを指定します。
稼働時間	スイッチが起動する時間を指定します。

[ISLs] タブ

このタブには、VSAN スコープ内のスイッチに関する ISL の情報が表示されます。次の表では、ISL タブに表示されるフィールドについて説明します。VSAN が ISL 全体の両方のスイッチで設定されていて、VSAN が ISL で有効になっていない場合、Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ では、VSAN はセグメント化されていると見なされます。したがって、VSAN を ISL 全体のトランク VSAN に追加して、警告メッセージをクリアします。または、この警告メッセージを無視することもできます。

表 2: [ISL] タブのフィールドと説明

フィールド	説明
VSAN	この ISL がトラフィックを実行するすべての VSAN。
スイッチから	リンクのソーススイッチ。
送信元インターフェイス	リンクのソース E_port のポートインデックス。
スイッチに	リンクのもう一方の端にあるスイッチ。
インターフェイスへ	リンクの宛先 E_port のポートインデックス。
スピード	この ISL の速度。
ステータス	リンクの動作ステータス。
ポートチャネルメンバー	ISL がポートチャネルの場合は、ポートチャネルのメンバー。
追加情報	TE/TF/TNP ISL など、この ISL に関する追加情報。

[ホストポート] タブ

このタブには、VSAN スコープ内のスイッチのホストポートに関する情報が表示されます。次の表では、[ホストポート] タブに表示されるフィールドについて説明します。

表 3:[ホストポート]タブのフィールドと説明

フィールド	説明
エンクロージャ	エンクロージャの名前
デバイスエイリアス	このエントリのデバイスエイリアス。
ポートWWN	このホストに割り当てられた PWWN。
Fcid	このホストに割り当てられた FC ID。
スイッチインターフェイス	エンドデバイスに接続されているスイッチのインターフェイス。
リンクステータス	リンクの動作ステータス。
ベンダー	ベンダーの名前を指定します。
シリアル番号 (Serial Number)	エンクロージャのシリアル番号を指定します。
モデル	モデルの名前を指定します。
ファームウェア	この HBA によって実行されるファームウェアのバージョン。
要因	この HBA によって実行されるドライバのバージョン。
追加情報	この HBA に対応する情報一覧です。

[ストレージポート]タブ

このタブには、VSAN スコープ内のスイッチのストレージポートに関する情報が表示されます。次の表では、[ストレージポート]タブに表示されるフィールドについて説明します。

表 4:[ストレージポート]タブのフィールドと説明

フィールド	説明
エンクロージャ	エンクロージャの名前
デバイスエイリアス	このエントリのデバイスエイリアス。
ポートWWN	このホストに割り当てられた PWWN。
Fcid	このホストに割り当てられた FC ID。
スイッチインターフェイス	エンドデバイスに接続されているスイッチのインターフェイス。
リンクステータス	リンクの動作ステータス。

[属性 (Attributes)]タブ

このタブには、VSAN スコープ内のすべてのスイッチの属性が表示されます。次の表では、[属性]タブに表示されるフィールドについて説明します。

表 5: [属性] タブのフィールドと説明

フィールド	説明
編集	<p>[編集 (Edit)] をクリックして、VSAN の属性を変更し、同じ VSAN 属性を選択したスイッチにプッシュします。</p> <p>選択したいずれかのスイッチで VSAN が FICON VSAN の場合、次のフィールドは FICON VSAN では変更できないため、UI に表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • vsanLoadBalancing • 相互運用性 • 順序どおりの配信 <p>属性を変更したら、[保存 (Save)] をクリックして変更を保存するか、[キャンセル (Cancel)] をクリックして破棄します。</p>
スイッチ名	VSAN に関連付けられているスイッチの名前を表示します。
VSAN 名	VSAN の名前を表示します。
Admin	<p>Admin の状態がアクティブであるか一時停止であるかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [アクティブ (Active)] は、VSAN が設定され、VSAN のサービスがアクティブ化されていることを意味します。 • [ダウン (Down)] は、VSAN が設定されていることを意味します。ただし、VSAN のサービスは非アクティブ化されています。set this state を使用すると、CLI のみを使用して、すべての VSAN パラメータを事前設定できます。 <p>(注) VSAN を一時停止すると、Cisco Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ から削除されます。</p>
Oper	VSAN の動作状態。
MTU	スイッチの MTU を表示します。

フィールド	説明
ロードバランシング	<p>VSAN で使用されるロードバランシングタイプを指定します。</p> <p>VSAN で使用されるロードバランシングの種類です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • srcId/DestId — パス選択にソース ID と接続先 ID を使用 • srcId/DestId/OxId — ソース、接続先、交換 ID を使用
相互運用性	<p>この VSAN のローカルスイッチの相互運用モード。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デフォルト • 相互運用性 - 1 • 相互運用性 - 2 • 相互運用性 - 3
順序どおりの配信	<p>デバイスの順序どおりの配信保証フラグ。true の場合、順序どおりの配信が保証されます。false の場合、保証されません。</p>
FICON	<p>VSAN が FICON 対応の場合は true。</p>

[ドメイン ID] タブ

このタブには、VSAN ドメインとそのパラメータに関する情報が表示されます。次の表では、ドメイン ID タブのフィールドについて説明します。

表 6:[ドメイン ID] タブのフィールドと説明

フィールド	説明
編集	<p>スイッチを選択し、[編集]アイコンをクリックして、選択したスイッチのドメイン ID 情報を変更します。</p>
スイッチ名	<p>VSAN のスイッチ名を指定します。</p> <p>(注) NPV スイッチは、この列には表示されません。ただし、NPV スイッチはこの VSAN ファブリックに存在します。</p>
状態	<p>スイッチのステータスを指定します。</p>
有効	<p>ドメイン ID を有効にするか無効にするかを指定します。</p>
Running	<p>実行中のドメインを指定します。</p>
設定	<p>設定を指定します。</p>

フィールド	説明
設定タイプ	ドメイン ID タイプの使用方法を [優先 (preferred)] または [静的 (static)] に指定します。
アイコン	
Total	テーブルの隣の番号は、このタブの下のエントリを指定します。
更新アイコン	更新アイコンをクリックしてエントリを更新します。

[VSAN メンバーシップ] タブ

このタブには、VSAN を形成するスイッチのインターフェイスに関する情報が表示されます。次の表では、[VSAN メンバーシップ] タブのフィールドについて説明します。

表 7: [VSAN メンバーシップ] タブのフィールドと説明

フィールド	説明
編集	<p>スイッチを選択し、[編集] アイコンをクリックして、選択した VSAN および選択したスイッチのポート VSAN メンバーシップを変更します。</p> <p>ポート VSAN メンバーシップは、FC (物理)、ポートチャネル、FCIP、iSCSI、VFC (スロット/ポート)、VFC (ID)、VFC チャネル、VFC FEX、および VFC ブレイクアウトを含むさまざまなタイプによって提供されます。PortChooser は、選択したスイッチに存在するすべてのインターフェイスを表示し、ユーザーが選択できるようにタイプごとに提供されます。</p> <p>(注) 動作中のトランキングポートまたはポートチャネルメンバーのポスト VSAN メンバーシップを変更すると、警告が表示されます。デバイスマネージャを使用して、トランキングインターフェイスの許可 VSAN リストを変更します。</p>
スイッチ名	スイッチの名前
インターフェイス	VSAN の FC ポート